

北海道札幌市立資生館小学校

(様式 4-2 : 平成 30 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度
実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称： 市電の走る街 札幌					
2. テーマ： 小学校 5 年生総合的な学習の時間における交通環境学習の実施					
3. 実施教科： 総合的な学習の時間					
4. 関連単元：					
5. 実施単元数： 30 時間					
6. 学年	5 年	7. クラス数	3 クラス	8. 生徒数	86 人
9. 実施内容 ①校区にある市電についての調べ学習 ・市電の乗車体験、電車事業所訪問活動 ②市電の歴史や現状についての調べ学習 ・ゲストティーチャーの活用学習 ③市電誕生 100 周年に向けた取組 ・市電の周りにある魅力スポットの調査 ・魅力を伝えるための宣伝ボード作り ・ゲストティーチャーとの CM 制作撮影					

10. 学習のながれ：

①校区にある市電についての調べ学習

市電の乗車体験、電車事業所訪問活動

校区にある市電について、どれだけ身近なものであるかの意識調査を行ったところ、あまり利用していないこと、市電がどのような仕組みであるかよくわからないことなどが浮き彫りになった。そこで、市電の仕組みを学習すべく、電車事業所を訪問し、職員の方から話を聞いたり、実際に市電に乗ったりした。子どもたちは、市電に対して興味・関心を高めていった。

②市電の歴史や現状についての調べ学習

ゲストティーチャーの活用学習

市電がどのような歴史をたどってきたのかを、ゲストティーチャーの方から話を聞いた。最初は多くの人に活用されてきたのだが、一時廃止の危機にまで立たされていたこと、その後のループ化や新型ポラリスなどにより、乗車数が増加したことなどを学習した。子どもたちがここまで学習することで、「もっと市電を活用していこう。」「もっと多くの人に利用してほしい。」という気持ちが芽生えてきた。

③市電誕生100周年に向けた取組

・市電の周りにある魅力スポットの調査

多くの人に市電を利用してもらうために、電車停留所周辺の魅力スポットを伝えていくことが重要であることから、実地調査を行った。

・魅力を伝えるためのボード作り

自分たちが調べてきた魅力について、伝わりやすいようにデザインを工夫して、ボードを作りあげた。

・ゲストティーチャーとの撮影

放送局やミュージシャンとコラボレーションし、市電100周年のお祝いを含めた映像製作を行った。その際に、自分たちで作ったボードを活用した。



※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。